

株主優待制度のご案内

当社株式をご所有の株主の皆様へ、全国の当社店舗でご利用いただけます商品引換券を贈呈させていただきます。

所有株式数	当社商品引換券
100株以上1,000株未満	1,000円
1,000株以上5,000株未満	5,000円
5,000株以上	10,000円

さらに定時株主総会の招集通知に同封します専用ハガキによる応募抽選で、大相撲9月場所観席券(食事付、4名まで可)を2名の方に贈呈いたします。

株主メモ

決算期日 毎年2月末日

株主総会 1. 定時株主総会は、毎年5月に開催いたします。
2. 臨時株主総会は、必要あるときに随時開催いたします。

名義書換代理人 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 03-5683-5111

同取次所 UFJ信託銀行株式会社全国本支店
野村證券株式会社本店および全国各支店

公告掲載新聞 日本経済新聞

株式会社 ポイント

〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国

URL <http://www.point.co.jp>

POINT INC.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに第54期中間事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。



株式会社 ポイント
代表取締役社長 福田 三千男

今回も順調な実績をご報告できますことをうれしく思います。

当期のわが国経済は長引く不安定な国際情勢と不況を背景に、消費マインドは相変わらず明さが見えないまま推移しました。

そのような中で、当社は、厳しい小売市場の中では、消費者にワクワクするようなライフスタイルを提案するストアブランド商品によって引き出されるスト

アロイヤリティが小売企業の発展をもたらす、という信念に基づき、02年2月にはSPA(製造小売)型専門店チェーンへの脱皮完了を宣言し、当期を初年度とする中期(三ヵ年)経営計画を発表いたしました。

当中間期は、中期経営計画に基づいた年次計画を順調に消化し、売上高を127億28百万円(前中間期比37.4%増)、売上総利益率を57.2%(前中間期56.7%)、経常利益を18億26百万円(前中間期比47.8%増)と、大幅に向上させました。

これもひとえに株主様やお客様、お取引先の皆様のご協力、ご支援の賜物と心よりの感謝を申し上げます。

各ブランドを積極的に改廃し、成長に結び付けています。

主力業態のローリーズファームは11店舗の増床・改装と5店舗の新規オープンを行い、売上高を前中間期比42.4%増といたしました。

第2の主力業態・グローバルワーク

は15店舗を新規オープンし、同41.8%増としております。

その他のブランドを6店舗新規オープンし、同18.2%増としております。

物流拠点の増設が好結果をもたらしました。

西日本地区への物流をスピードアップするために、02年9月、福岡県福岡市に開設した第二物流センターが稼働をはじめました。従来は水戸商品センターから全国の店舗へ商品配送を行ってまいりましたが、大阪以西の西日本地区への商品供給を福岡から実施することによりリードタイムを一日短縮させ、機会損失を減少させることができました。その結果、西日本地区の既存店売上高前中間期比は東日本地区に比べ1.3%高い数値を達成しております。

台湾子会社が機能し始めています。

ビジネスの拡大と自社ブランドのグローバル化を目指して設立いたしま

した、台湾子会社「波茵特股份有限公司(POINT TAIWAN INC.)」は、ローリーズファームを3店舗オープンいたしました。初めての海外店舗に多くの困難、さらにSARS(重症急性呼吸器症候群)騒動などがありましたがおおむね順調に進捗しております。今後は、年内に4店舗を新規にオープンし、計7店舗体制を来期までに敷き、現地法人・本部の本格的な稼働と業績の黒字化の道筋をつけたいと考えております。

今後もいっそうのご支援をお願い申し上げます。

当社は、今後も個性的な価格帯、ブランド、業態によるSPA型専門店チェーンとして積極的に出店を進め、豊かな暮らしの実現に貢献し、成長する小売企業としての発展に努める所存でございます。

皆様におかれましては、今後もいっそうのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

連結決算の主なポイント

売上高 12,728 百万円
前中間期比：37.4%増

当中間期の売上高は12,728百万円(前中間期比37.4%増)となりました。これは、店舗数が前中間期比42店舗増加していること、引き続き主力の「ローリーズファーム」を中心に既存店が好調だったことによるものです。通期での売上高は26,886百万円を予定しております。

経常利益 1,826 百万円
前中間期比：47.8%増

当中間期の経常利益は1,826百万円(前中間期比47.8%増)と中間期の最高益を更新しました。売上高経常利益率は14.4%となっております。これは、売上総利益率が引き続き向上したこと、売上高販管費比率が42.7%と低下したことによるものです。通期での経常利益は3,749百万円を予定しております。

中間純利益 918 百万円
前中間期比：32.6%増

当中間純利益は918百万円(前中間期比32.6%増)となりました。当中間期は、退店ならびに店舗鮮度を保つための改装等を中心に178百万円の固定資産除却損および賃借契約解約に伴う損失を計上しました。当期純利益は1,945百万円を予定しております。

総資産 13,608 百万円
前期比：11.0%増

当中間期末の総資産は13,608百万円(前期末比11.0%増)となりました。これは当中間期も営業成績が好調だったこと、店舗数が前期末比29店舗(台湾3店舗含む)増加したことによる保証金敷金の増加、売掛金の増加等が主な要因となっております。

純資産 6,625 百万円
前期比：13.0%増

当中間期末の純資産は6,625百万円(前期末比13.0%増)となりました。これは好調な営業成績に加え、ストックオプションの行使が含まれています。その結果、自己資本比率は、前期末の47.8%から48.7%に向上しております。なお、発行済株式総数は、前期末の株主様を対象に1:1.5の株式分割を行ったこと等により13,013,400株となり、前期末に比べ4,481,800株増加しております。

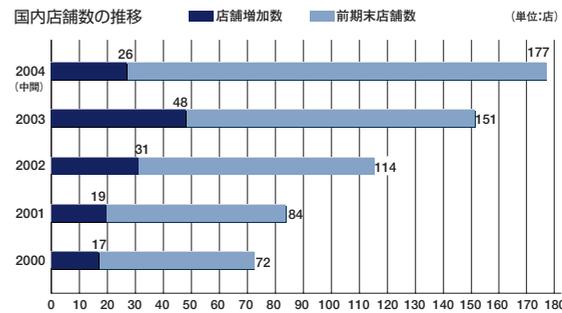
店舗数 180 店舗
前期比：29店舗増

当中間期末の店舗数は180店舗(台湾3店舗含む)となりました。前期末と比較して29店舗(台湾3店舗含む)増加しております。当社は現在9ブランドの店舗を有しており、主なものは主力のローリーズファーム77店舗(内、台湾3店舗)、準主力のグローバルワーク43店舗、ヘザー17店舗、ソーナリス14店舗、レイジブルー12店舗の展開となっております。詳細は13ページの「エリア別店舗数」をご覧ください。

中期経営計画実現に向けて新たなスタートを切りました。

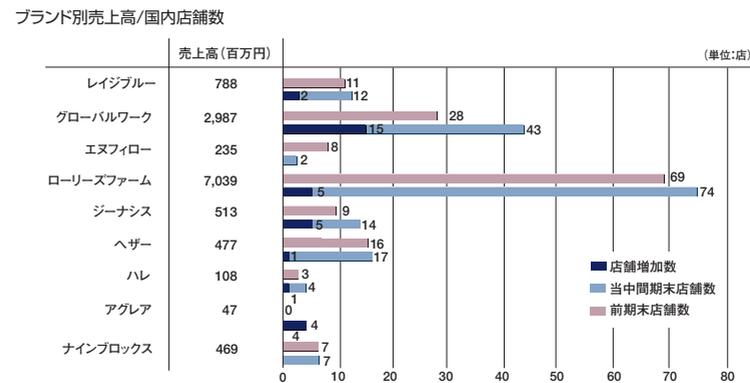
■ 積極的な出店を継続

当中間期においては、前期と同様積極的に新規出店(34店舗)を継続いたしました。また、「エヌフィロー」業態の休止などによる、退店(8店舗)も迅速に実施し、中間期末国内店舗数は177店舗(前期末比26店舗増)となりました。なお、従来28歳の女性をターゲットとして実験してまいりました「ハレ」業態を、20~30歳代の男性を対象としたメンズ店舗に内容を変更し、順調な滑り出しを示しております。



■ 基幹ブランド育成に向けて

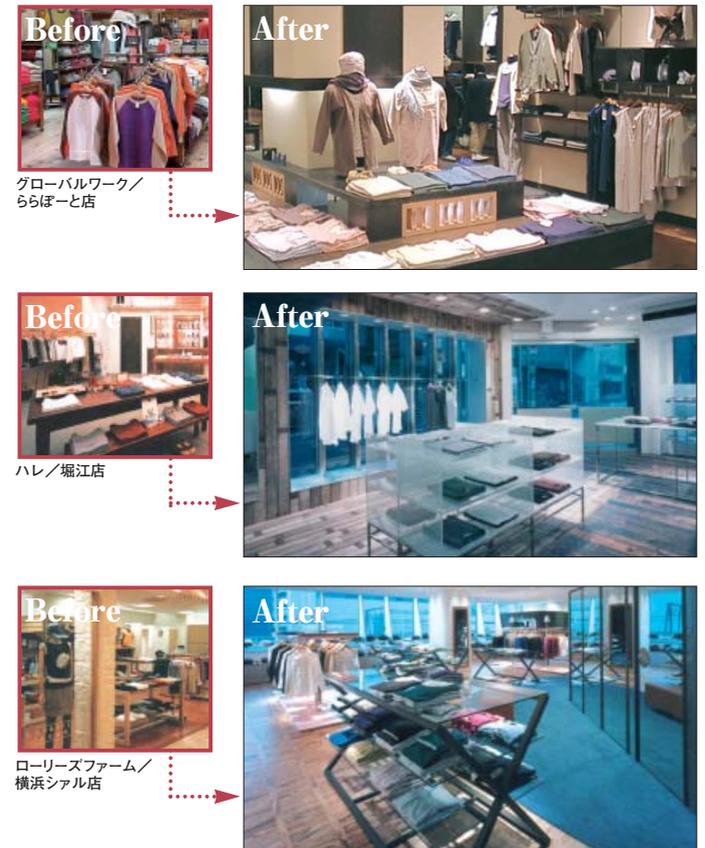
基幹となる3ブランド、ローリーズファーム、グローバルワーク、ジーナシスの育成計画に基づき、当中間期においては、それぞれ5店舗、15店舗、5店舗の出店を行い、安定した成長を実現するための基礎作りを継続いたしました。あわせて各ブランドにおいて、雑誌掲載やタレントへの商品貸与など、ブランドネームの浸透にも積極的に取り組んでおります。



■ 既存店の活性化に向けて

当社は、新たな商業施設の建設や経年による商環境の変化・陳腐化は避けられないものと考えております。そのため、既存店が永続的に成長することは原則として困難であると想定し、常に店舗を取り巻く環境の変化に注意し、迅速な退店を戦略のひとつとしております。逆に、有力な既存店については、改装、増床、移転などの措置により活性化を図ることとし、当中間期においては27店舗について実施いたしました。

今後とも時代に合った新鮮な商品・店舗内装を追求し、お客様に満足いただけるお買い物空間を目標としてまいります。



中期経営計画実現に向けて新たなスタートを切りました。

■ 新規ブランド・新業態開発



shuca
GLOBAL WORK

中間期末店舗数：6店舗
(グローバルワーク内にてカウント)
ターゲット：25～30歳の女性
プライスゾーン：アッパーポピュラー
出店ロケーション：ファッションビルと路面

シンプルなデザインに、エスニックテイストを加えて提案するグローバルワークのコンセプトはそのままに、シュカ グローバルワークはレディース商品に特化し、より明確な商品を展開いたします。ファッションビルや路面にも出店の可能性を広げるレディースブランドとしての検証を経て、当期より出店の段階に入りました。

展開する商品だけでなく、店舗の内装

にも深みのある色の木材や天然素材のマット、素焼きのタイルなどを使い、ぬくもりややすらぎを感じられることを大切に考えてまいります。



HARE
buchwear

中間期末店舗数：4店舗
ターゲット：20～30歳代の男性
プライスゾーン：モデレート
出店ロケーション：ファッションビルと路面

従来、28歳の女性をターゲットとして実験してまいりました「ハレ」業態を、20～30歳代の男性を対象としたメンズ店舗に内容を変更いたしました。アパレル小売におけるメンズマーケットの不振時期を経て、再構築の時期に向けてのトライアルとして取り組み、順調なスタートを切ることができました。下半期においても数店舗の出店を計画しております。

さりげない大人のお洒落をテーマに、自由な発想のコーディネートでリラックスできる時流のスタイルを提案します。



ハレ/堀江店

■ グローバルブランド化に向けて(台湾店舗の状況)



台湾店舗は今年3月の一号店出店に向けて、昨年12月の現地法人設立などの諸準備を進め、オープン当日にはマスコミ向けのファッションショーを実施し、多くの関係者にお集まりいただく中で、盛況のうちにオープンすることができました。続いて出店した2店舗を含め、当初は計画を上回る順調な滑り出しとなりましたが、SARSの発生により、当初計画した出店時期を断念せざるを得ない事態に見舞われました。残念ながら当初の年度計画には至らない(売上高:3.7億円→2.5億円、営業利益▲0.1億円→▲0.2億円)見込みではありますが、SARS沈静化以

降の順調な売上状況を踏まえ、下半期においては4店舗の出店を計画しております。また、今後は新規出店の他に、他諸外国においても通用する情報システムや物流体制の改善も進め、グローバルブランド構築の基礎を築いてまいります。



ローリーズファーム/台湾微風広場店

最新店舗オープン情報

- グローバルワーク 久留米
2003.9.4 OPEN
福岡県久留米市合川北土地区画整理事業区内1街区
ユメタウン2F Tel 0942-45-7137
- ローリーズファーム 久留米
2003.9.4 OPEN
福岡県久留米市合川北土地区画整理事業区内1街区
ユメタウン2F Tel 0942-45-7263
- ジーナシス 横浜丸井
2003.9.4 OPEN
神奈川県横浜市西区高島2-19-12
丸井シティ横浜 5F Tel 045-450-1069
- グローバルワーク 藻岩
2003.9.4 OPEN
北海道札幌市南区川沿二条2-1-1
ボスファル藻岩 1F Tel 011-578-5115
- レイジブルー 天神コア
2003.9.6 OPEN
福岡県福岡市中央区天神1-11-11
天神コア 5F Tel 092-721-5165
- ジーナシス 名鉄セブン
2003.9.6 OPEN
愛知県名古屋市中村区名駅1-2-1
名鉄セブン館 5F Tel 052-585-7569
- ハレ 名古屋
2003.9.6 OPEN
愛知県名古屋市中区栄3-27-11
Tel 052-238-1229
- ハレ 京都
2003.9.6 OPEN
京都府京都市中京区寺町通四条上ル中之町
548-4 Tel 075-229-6522
- ローリーズファーム 新光三越台中
2003.9.18 OPEN
台湾台中市中港路二段111号
新光三越台中店 B1 Tel 04-2251-5433
- ジーナシス ソラリア
2003.9.27 OPEN
福岡県福岡市中央区天神2-2-43
ソラリアプラザ 4F Tel 092-733-7227
- グローバルワーク 津田沼
2003.9.30 OPEN
千葉県習志野市津田沼1-23-1
イオン津田沼ショッピングセンター 2F
Tel 047-455-6294
- グローバルワーク ヴィソラ
2003.10.1 OPEN
大阪府箕面市苅宿1-7-22
真面マートパークヴィソラEAST 1 2F
Tel 072-749-5310
- ジーナシス 三宮
2003.10.2 OPEN
兵庫県神戸市中央区三宮1-7-5
神戸丸井 3F Tel 078-325-8176
- アグレア 盛岡
2003.10.4 OPEN
岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44
フェザン 2F Tel 019-606-3450
- グローバルワーク 御所野
2003.10.17 OPEN
秋田県秋田市御所野地藏田1-1-1
イオン秋田SC 2F Tel 018-889-6547

台湾地区
3店

中国・九州地区
34店

中部・近畿地区
61店

北海道・東北地区
24店

関東地区
58店

Sapporo

2003/3/6 オープン



レイジブルー ステラブレイス

Tokyo

2003/5/1 オープン



ローリーズファーム ラクーア

Osaka

2003/8/26 オープン



ジーナシス 天王寺

Kitakyushu

2003/4/15 オープン



グローバルワーク 北九州デコシティ

全国店舗紹介 (2003年8月31日現在)

関東以北では最大規模となるJR札幌駅に隣接した商業施設で、札幌を中心として多くのお客様がいらっしゃいます。これまでショッピングの中心地だった4丁目の商業施設との熾烈な戦いの中、同じくオープンしたジーナシス、ヘザーともども毎日奮闘中です。

六本木ヒルズオープンの陰に隠れて、オープン前はインパクトの弱かった感のあるラクアですが、本格的な温泉施設などが紹介されるなどして大盛況となりました。東京ドームのお隣りということもあり、お客様の層が幅広いことが特徴です。

大阪の南の玄関口、JR天王寺駅に隣接するミオ6階にオープンしました。既に同じミオ内では、ローリーズファームとレイジブルーが1995年より営業し、順調な成績を収めていますので、負けるわけにはいきません。天王寺にジーナシスブランドを広めます。

小倉駅から徒歩10分の紫川沿いに、リバーウオーク北九州はそびえ立っています。ショッピングゾーンのデコシティの他、NHK、劇場、新聞社などの施設が揃っていますので、さまざまな、そして多くのお客様にご来店いただいています。店内にはグローバルワーク初のカフェスペースもあり、ショッピング途中の休憩も可能です。

業績推移

公募増資ならびに株式売出しを実施

9月に100万株の公募増資を行い、約2,015百万円を調達しました。これにより9月末時点での発行済株式総数は14,028,400株、資本金は2,430百万円となり、一層の自己資本の充実

が達成できました。あわせて金融機関等が所持しておりました当社株式76万株と10万株を上限とするオーバーアロットメントによる株式の売出しが行われました。

公募増資による調達資金については、全額を新規出店等の設備資金として有効に利用していく方針です。今

後は、さらに機動的な出店にも対応可能となり、一層の収益力向上につなげていく所存です。これからも株主様の期待に応えられるよう、全社をあげて取り組んでまいります。

良き企業市民として - 水戸室内管弦楽団の後援を開始 -

わが社は、1953年10月、前身の株式会社福田屋洋服店発足以来、茨城県水戸市に本社をおき、活動を続けてまいりました。今日、企業活動は全国規模になりましたが、これもひとえに温かく見守り育ててくれた水戸市民の皆様のおかげであるという感謝の思いは変わりません。このたび、ご縁があり、水戸市民の皆様が誇る小沢征爾さんの率いる水戸室内管弦楽団の

後援企業の一社として名を連ねることとなりました。水戸から世界に羽ばたこうとする企業として、世界的な名声を誇る水戸室内管弦楽団を応援させていただけることは大変光栄なこと

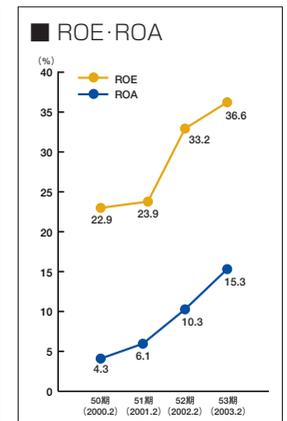
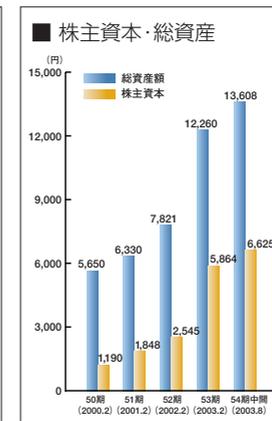
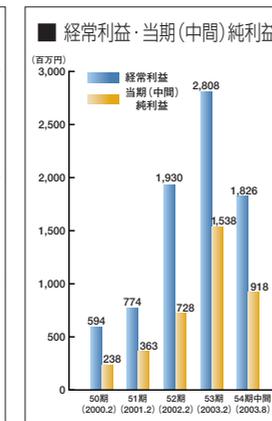
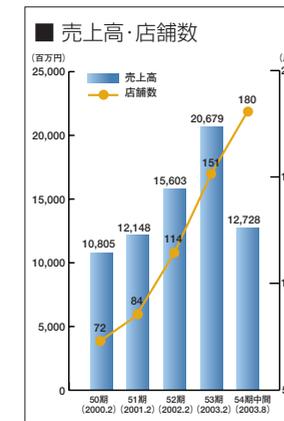
あると考えております。水戸および水戸室内管弦楽団の発展とともにわが社も大いなる発展を期しております。



水戸室内管弦楽団

■ 5年間の業績推移

		50期 (2000年2月)	51期 (2001年2月)	52期 (2002年2月)	53期 (2003年2月)	54期(中間) (2003年8月)
売上高	(百万円)	10,805	12,148	15,603	20,679	12,728
経常利益	(百万円)	594	774	1,930	2,808	1,826
当期(中間)純利益	(百万円)	238	363	728	1,538	918
総資産	(百万円)	5,650	6,330	7,821	12,260	13,608
株主資本	(百万円)	1,190	1,848	2,545	5,864	6,625
店舗数	(店)	72	84	114	151	180
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	1,508.07	110.77	195.72	194.62	71.34
1株当たり株主資本(BPS)	(円)	7,510.81	503.99	683.03	687.54	509.26
総資産当期純利益率(ROA)	(%)	4.3	6.1	10.3	15.3	
株主資本利益率(ROE)	(%)	22.9	23.9	33.2	36.6	



■ 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2003年8月31日現在)	前中間期 (2002年8月31日現在)	前期 (2003年2月28日現在)	科目	期別	当中間期 (2003年8月31日現在)	前中間期 (2002年8月31日現在)	前期 (2003年2月28日現在)
(資産の部)					(負債の部)				
I 流動資産					I 流動負債				
1. 現金及び預金		4,347,374	1,647,332	4,298,502	1. 支払手形及び買掛金		3,030,761	2,173,958	2,967,266
2. 売掛金		1,341,668	1,042,296	731,370	2. 短期借入金		634,427	788,766	416,043
3. 有価証券		500,000	10,115	10,116	3. 未払金		1,054,087	776,883	747,811
4. たな卸資産		1,335,271	1,445,508	1,553,958	4. 未払法人税等		816,731	529,457	866,312
5. その他		474,134	232,938	480,939	5. 賞与引当金		269,900	100,009	127,631
6. 貸倒引当金	△	24,318	33,958	13,818	6. その他		65,970	30,339	15,646
流動資産合計		7,974,130	4,344,234	7,061,069	流動負債合計		5,871,877	4,399,413	5,140,711
II 固定資産					II 固定負債				
1. 有形固定資産		1,292,949	968,993	1,253,092	1. 社債		500,000	500,000	500,000
2. 無形固定資産		55,928	76,227	67,487	2. 長期借入金		450,880	841,862	598,054
3. 投資その他の資産					3. 役員退職慰労引当金		160,583	148,344	156,719
保証金敷金		3,694,226	3,169,769	3,421,194	固定負債合計		1,111,463	1,490,206	1,254,773
その他		630,968	542,952	504,917	負債合計		6,983,340	5,889,619	6,395,484
貸倒引当金	△	39,700	41,831	47,519	(資本の部)				
投資その他の資産合計		4,285,494	3,670,891	3,878,593	I 資本金		—	457,363	1,383,411
固定資産合計		5,634,372	4,716,112	5,199,173	II 資本準備金		—	317,254	1,242,225
					III 連結剰余金		—	2,393,097	3,238,826
					IV その他有価証券評価差額金		—	3,514	1,725
					V 為替換算調整勘定		—	—	△ 927
					VI 自己株式		—	△ 502	△ 502
					資本合計		—	3,170,727	5,864,758
					I 資本金		1,406,955	—	—
					II 資本剰余金		1,265,769	—	—
					III 利益剰余金		3,945,396	—	—
					IV その他有価証券評価差額金		10,981	—	—
					V 為替換算調整勘定		△ 559	—	—
					VI 自己株式		△ 3,380	—	—
					資本合計		6,625,163	—	—
資産合計		13,608,503	9,060,346	12,260,242	負債及び資本合計		13,608,503	9,060,346	12,260,242

■ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2003年8月1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年8月1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 売上高		12,728,133	9,265,697	20,679,463
II 売上原価		5,451,963	4,007,841	9,029,546
売上総利益		7,276,170	5,257,856	11,649,916
III 販売費及び一般管理費		5,431,117	3,999,382	8,790,166
営業利益		1,845,053	1,258,474	2,859,750
IV 営業外収益		10,311	8,943	16,677
V 営業外費用		28,859	31,301	67,880
経常利益		1,826,504	1,236,115	2,808,547
VI 特別利益		—	46,840	58,764
VII 特別損失		178,222	46,815	123,975
税金等調整前中間(当期)純利益		1,648,282	1,236,140	2,743,336
法人税、住民税及び事業税		821,676	530,025	1,288,979
法人税等調整額	△	91,704	13,394	84,092
中間(当期)純利益		918,310	692,720	1,538,449

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2003年8月1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年8月1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 営業活動による キャッシュ・フロー		1,028,320	4,360	2,235,197
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△	947,549	977,072	1,705,232
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△	42,428	728,192	1,942,613
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額		412	—	△ 927
V 現金及び現金同等物 の増減額		38,755	△ 244,518	2,471,651
VI 現金及び現金同等物 の期首残高		3,993,618	1,521,967	1,521,967
VII 現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高		4,032,374	1,277,448	3,993,618

■ 中間連結剰余金計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2003年8月1日から 2003年8月31日まで)	前中間期 (2002年8月1日から 2002年8月31日まで)	前期 (2002年3月1日から 2003年2月28日まで)
I 連結剰余金期首残高		—	1,768,269	1,768,269
II 連結剰余金減少高		—	67,892	67,892
1. 配当金		—	40,992	40,992
2. 役員賞与 (うち監査役賞与)		—	26,900	26,900
III 中間(当期)純利益		—	692,720	1,538,449
IV 連結剰余金中間期末(期末)残高 (資本剰余金の部)		—	2,393,097	3,238,826
I 資本剰余金期首残高	1,242,225	—	—	—
II 資本剰余金増加高 増資による新株の発行	23,544	—	—	—
III 資本剰余金中間期末残高 (利益剰余金の部)	1,265,769	—	—	—
I 利益剰余金期首残高	3,238,826	—	—	—
II 利益剰余金増加高 中間純利益	918,310	—	—	—
III 利益剰余金減少高	211,740	—	—	—
1. 配当金	153,540	—	—	—
2. 役員賞与 (うち監査役賞与)	58,200	—	—	—
IV 利益剰余金中間期末残高	3,945,396	—	—	—

Company Outline

会社概要

- 会社名 株式会社ポイント
- 本部 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国
- 代表電話 03-5624-6011
- 設立 1953年10月
- 資本金 2,430,590千円(2003年9月30日現在)
- 代表者 代表取締役社長 福田 三千男(ふくだ みちお)
- 事業内容 カジュアルウェア専門店チェーン
- 事業所 水戸本店 東京本部
店舗数 180店舗(台湾子会社の3店舗含む)
- 主要取引銀行 東京三菱銀行 常陽銀行
- 社員数 正社員499名(男170/女329)
*この他、子会社への出向者が10名おります。
- 平均年齢 26.6歳

連結子会社

- 会社名 株式会社ボジック
 - 資本金 10百万円
 - 当社の議決権比率 100%
 - 主な事業内容 当社取扱商品の物流業務
-
- 会社名 波齒特股份有限公司
 - 資本金 10百万台湾ドル
 - 当社の議決権比率 100%
 - 主な事業内容 台湾における衣料販売業務

役員

2003年8月31日現在

- 代表取締役社長 福田 三千男
- 専務取締役 黒田 博
- 常務取締役(営業本部長兼第二営業部長) 石井 稔 晃
- 常務取締役(社長室長兼経営企画室長) 遠藤 洋 一
- 取締役(開発室長) 勝山 章 廣
- 取締役(管理本部長) 吉野 明 男
- 取締役(企画本部長兼情報システム室長) 時松 克 治
- 取締役(内部監査室長) 日野 力
- 取締役(第一営業部長) 櫻井 健 一
- 監査役(常勤) 新名 宏 志
- 監査役 野村 義 衛
- 監査役 横山 哲 郎
- 監査役 前川 渡

エリア別店舗数

2003年8月31日現在

	北海道・東北	関東	中部・近畿	中国・九州	台湾	計
レイジブルー	3	3	4	2	0	12
グローバルワーク	6	16	13	8	0	43
エヌフィロー	0	0	1	1	0	2
ローリーズファーム	7	26	27	14	3	77
ハレ	1	2	1	0	0	4
ヘザー	2	4	6	5	0	17
ジーナシス	3	5	4	2	0	14
ナインボックス	1	1	4	1	0	7
アグレア	1	1	1	1	0	4
計	24	58	61	34	3	180

株式の状況

2003年8月31日現在

会社が発行する株式の総数…………… 50,000,000株
発行済株式総数……………13,013,400株
株主数…………… 1,009名

大株主(上位10名)

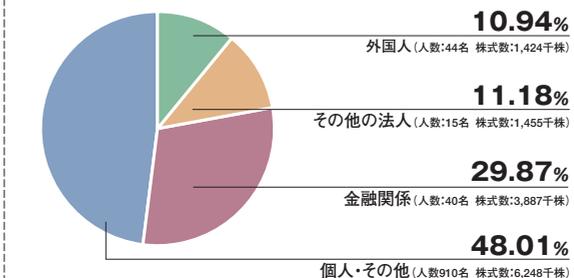
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
福田三千男	3,733,800	28.69
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,529,400	11.75
有限会社テツカンパニー	1,263,600	9.70
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	852,100	6.54
ポイント従業員持株会	418,608	3.21
ゴールドマンサックス インターナショナル	319,500	2.45
福田泰生	219,600	1.68
福田穰仕	219,600	1.68
福田仁美	214,500	1.64
バンクオブニューヨーク ヨーロッパリミテッド131705	159,000	1.22

株式分割の推移

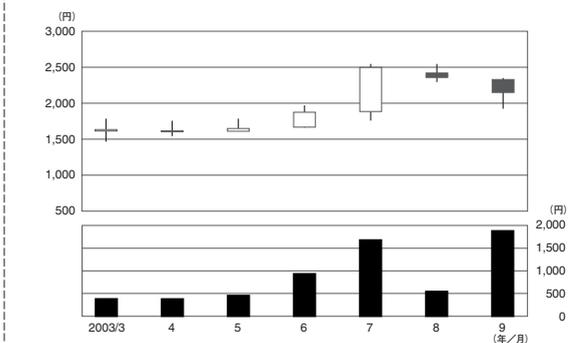
年月は割当日ベース

2002年4月…………… 1:2
2003年4月…………… 1:1.5

所有者別株式数分布状況



株価の推移



(注) 株価チャートについては、株式分割による調整を反映させたものとなっております。